

NDとプリコート加工を量産

SG代替をいち早く構築

興津精工

緩み止めコーティング加工メーカーの興津精工(株)(静岡市清水区、岩崎達也社長)は、緩み止めコーティング接着剤の米ND Industrial社製ND Microspheres® 1-1000SO / 1000SD (以下ND) / Omnitech社製Precote® 80/85/50 (以下プリコート)の受託加工を行っている。

同社は主力剤にしてきた米3M製Fastener Adhesive(以下3M)以下のSGと近い(23年9月)にもなると、代替剤の調査と量産加工

の性能を発揮できるように自社で薬剤を調整出来ることやSG加工ラインをそのまま流用出来たことにより、生産量を落とすことなく量産出来ることとが強みと捉え、採用の大きな決め手となった。主力製品の生産終了という大きな転換期を迎えた同社だが、様々な協力を得て、早期に代替剤の準備を進められたことや

新規剤の情報やHP等で公開することで新規の引き合いを獲得した。また、エポキシ系接着剤を主力としてきた同社が、今回初めてアクリル系接着剤のプリコートを取り扱うことで、アクリル系を使用したユーザーも新たに獲得できた。

新規材料への切り替えは同社としても初の試みとなり、当初は薬剤の細かな特性の違いに苦労したが、社員からのアイデアを取り入れながら試行錯誤を繰り返したことに

も提案していくなど、必要な性能に見合った「緩み止め加工」を自社、客先の双方で見直す良い機会になったという。今後の展開としては、

現在の加工技術をさらに発展させた現加工機の改善や新規設備の導入を検討し、より高品質/短納期な製品の提供を目指す。また、将来的に持続可能なサプライチェーンを構築するため、緩み止め接着剤の国内生産を視野に入れ、開発協力なども進めていく考えを示す。

同社は緩み止めコーティング加工をはじめ、ステンレス酸化着色加工(フラック/フラウ)、頭部塗装、パンチ等の工具販売事業を展開している。

岩崎社長は今回の一件により、エンドユーザーが求める「緩み止め加工」の製品毎に違う性能を精査し、NDやプリコートの様な固着タイプだけではなく、同社で扱うシリコン加工等の抵抗タイプ

の性能を發揮できるように自社で薬剤を調整出来ることやSG加工ラインをそのまま流用出来たことにより、生産量を落とすことなく量産出来ることとが強みと捉え、採用の大きな決め手となった。主力製品の生産終了という大きな転換期を迎えた同社だが、様々な協力を得て、早期に代替剤の準備を進められたことや



Precote加工サンプル

ND加工サンプル